

公 示

第 41 回学術集会会長（副会長）選出の件

定款第 21 条第 1 項、学術集会会長および副会長選出に関する細則に従い、本学会第 38 回学術集会会長の任期満了による第 41 回学術集会会長の選挙を第 38 回学術集会時に開催される社員総会（評議員会）にて行います。第 41 回学術集会会長に選出された者は第 38 回学術集会終了の翌日より、第 40 回学術集会終了日までは副会長となります。候補者となることを希望する者は、所定の届け出用紙を用いて、評議員 5 名以上の推薦状を添えて、2010 年（平成 22 年）10 月 31 日（当日消印有効）までに学会事務局まで簡易書留にて届け出て下さい。

なお、届け出用紙は評議員及び常任委員（有権者）に開示致しますので御了承下さい。

候補者となることを希望する者は、書留として返信用封筒を同封し書留便にて学会事務局まで届け出用紙を請求して下さい。

2010 年 7 月 1 日

一般社団法人 日本集中治療医学会
理 事 長 前 川 剛 志

日本集中治療医学会
優秀論文賞の募集について

2010年度日本集中治療医学会優秀論文賞の授賞候補論文の募集を行います。
今年度は学術集会会期の関係上2010年10月31日(必着)までに学会事務局に申請下さい。
尚、応募用紙は日本集中治療医学会事務局までFAX(03-3815-0585)にて御請求下さい。

2010年7月1日

日本集中治療医学会
理事長 前川 剛志

優秀論文賞選出内規

第1条 目的

日本集中治療医学会優秀論文賞（本賞・奨励賞）を設け、集中治療医学の発展に寄与する。

第2条 対象

- 1) 筆頭著者が日本集中治療医学会会員であること。
- 2) 対象論文は、本学会総会の前々年10月から前年11月の間に本学会機関誌に掲載、あるいは本学会学術集会において発表後権威ある学術誌に掲載された原著論文とする。

第3条 選考委員会

選考委員会は次の構成とし、理事会の議を経て理事長が委嘱する。選考委員会は学術集会会長が委員長となり選考を行う。

1. 本会会長、前会長ならびに前前会長
2. 機関誌編集委員会より1名
3. 評議員より4名

委員の任期は、2.は3年、3.は1年とする。

第4条 募集方法

- 1) 選考委員長は年1回、候補論文の募集を行う。自薦または他薦による。
- 2) 候補論文は別に定める優秀論文賞選考の申し合わせ事項に従い公募する。
- 3) 機関誌編集委員会は候補論文を推薦できる。

第5条 選考方法

- 1) 選考委員会は別に定める優秀論文賞選考の申し合わせ事項に従って最終候補論文を選出する。
- 2) 受賞論文は理事会の議を経て決定する。
- 3) 受賞論文は年3編以内とする。

第6条 受賞

賞状ならびに賞金を本学会年次総会において会長より授与する。賞金額は、当面本賞1件20万円、奨励賞1件10万円とする。

第7条 受賞者は、同年度の学術集会において該当論文内容を報告しなければならない。

第8条 基金

第13回天羽会長よりの寄付金を基金とし、その他寄付金を受け付ける。基金の管理運用は理事長が行う。

付 則

この内規は、1986年3月1日から施行する。

この改定は、2001年5月18日から施行する。

この改定は、2002年1月11日から施行する。

この改定は、2003年5月1日から施行する。

この改定は、2004年3月5日から施行する。

(ただし、理事長に関する事項は2005年2月23日から施行する。)

この改定は、2005年12月22日から施行する。

会 告

第38回日本集中治療医学会学術集会 会告(第3報)

第38回日本集中治療医学会学術集会
会長 田中 啓治
看護部門責任者 鈴木 智恵子
臨床工学技士部門責任者 野口 裕幸
〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
日本医科大学付属病院集中治療室内

第38回日本集中治療医学会学術集会を下記要領で開催いたします。多数の演題のご応募並びに学術集会へのご参加を歓迎いたします。

テ ー マ： 集学性 (Multidisciplinary) を考える
会 期： 2011年 (平成23年) 2月24日 (木)・25日 (金)・26日 (土)
会 場： パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

<学術集会概要>

学術集会の概要につきましては2010年5月末時点での予定企画情報を掲載しております。

<合同部門>

I 特別講演

1. 「警察庁長官銃撃事件からコードブルーまで」
國松 孝次 (NPO救急ヘリ病院ネットワーク理事長)
2. 「Genomics and Proteomics in Critical Care Medicine」
平澤 博之 (千葉大学名誉教授)

II シンポジウム

1. 集学性 (Multidisciplinary) を考える
2. 集中治療における電子カルテ導入とモニタリングシステム ―問題点と将来の展望―
3. その他 (企画中)

<医師部門>

I 海外招請講演予定者

1. Mitchell M Levy (Brown University School of Medicine, USA)
2. Derek C Angus (University of Pittsburgh School of Medicine, USA)
3. Claudio Ronco (San Bortolo Hospital, Italy)
4. Walter Ageno (University of Insubria, Italy)
5. Graeme MacLaren (Singapore Children's Hospital, Singapore)
6. Karl B Kern (University of Arizona Sarver Heart Center, USA)
7. Van Johnson Jr (Methodist Hospitals, USA)
8. James F Trotter (University of Colorado-Denver, USA)
9. Jean-Louis Vincent (Erasmee University Hospital, Belgium)
10. Bernard Cholley (Université René Descartes, France)

11. Steven A Webb (Royal Perth Hospital, Australia)
12. Antonios Liolios (Papageorgiou Hospital, Greece)

II シンポジウム, パネルディスカッション

1. Post cardiac arrest syndrome
2. Cardio-renal syndrome の集学的治療
3. 集中治療室における静脈血栓塞栓症とカテーテル血栓症の実態
4. 急性肝不全の集学的治療
5. 小児の ECMO
6. Real intensivist とは —世界に学んだインテンスビストたち—
7. 女性集中治療医の主張
8. その他

III 委員会報告

1. 終末期医療 (倫理委員会)
2. 日本版ガイドライン作成に向けて (Sepsis Registry 委員会)
3. 新型インフルエンザ (A/H1N1) 対策を総括する (新型インフルエンザ調査委員会)
4. 集中治療における重症患者の体温管理 (FACE study の解析結果)
5. ICU における鎮痛・鎮静における本邦のガイドライン
6. 集中治療における診療報酬体制を検証する

IV 教育講演

企画中

V セミナー

「研修医と新人看護師のための集中治療に必要な循環器セミナー」

VI 会長講演

「循環器集中治療学」

<看護部門>

I 基調講演

「集中治療におけるケアリングについて考える」
筒井 真優美 (日本赤十字看護大学教授)

II 教育講演

1. 看護職のワークライフバランス ～自分らしく働くために
2. 集中治療における看護師の責任と倫理
3. 集中治療におけるグリーフケア
4. 集中治療室におけるジェネラリストの育成

III 徹底討論

「集中ケア認定看護師, 重症患者看護専門看護師の活躍により何が変わったか, 何が変わらなければならないのか？」

IV シンポジウム

1. 集中治療における NST 活動と栄養管理
2. 集中治療における看護師の役割拡大
3. 新人看護師卒後研修における現状と今後の課題・展望
4. 集中治療領域の熟達看護師 (ジェネラリスト) に着目した教育体制

V ワークショップ

1. 集中治療における看護の喜び・醍醐味
2. 一般病棟との連携の中で集中治療室が果たすべき役割

VI 認定看護師による実践講座

「早期離床」

<臨床工学技士部門>

I シンポジウム

1. 呼吸ケアチーム活動における臨床工学技士の役割
2. ICUにおける臨床工学技士の業務 ～臨床の係わり合い第2弾～

II 教育講演

1. PCPS・ECMOについて
2. ICUにおける透析管理
3. 臨床工学技士に必要な呼吸リハビリテーションの知識

III ワークショップ

1. 集約的治療を必要とする患者への全身管理について

<市民公開講座>

「集中治療ってなに？」(神奈川県保険医協会, 神奈川県医師会, 横浜市医師会後援)

<演題申込>

インターネット経由による応募のみといたしました。応募された演題の著作権は、日本集中治療医学会に帰属し、ホームページ上に掲載され、全文検索の対象となりますのでご了承下さい。

注意：ヒトを対象とした研究発表では、ヘルシンキ宣言(2000年10月, エジンバラ)に基づき、所属機関の倫理委員会の承認を得て行った研究を発表して下さい。また、症例報告では、患者のプライバシー保護のため、患者が特定できるような表現をご遠慮下さい。発表・講演を行う演者は、開示する義務のある利益相反状態があれば、学会抄録あるいは発表スライド・ポスター等において自己申告して下さい。

演題の応募者は、発表者、共同発表者にかかわらず、日本集中治療医学会の会員に限ります。未入会の方は**必ず入会手続きをお願いいたします**。

なお、入会手続きにつきましては、本会ホームページ(<http://www.jsicm.org/>)の「入会案内」をご参照いただくか、または、送付先の住所、氏名を記載した返信用封筒(80円切手貼付)を同封し、入会申込書必要部数を明記して下記までご請求下さい。

請求先：〒113-0033 東京都文京区本郷3-32-6 ハイヴ本郷3F
日本集中治療医学会事務局
TEL：03-3815-0589

■応募アクセス方法

第38回日本集中治療医学会学術集会のホームページ(<http://www.congre.co.jp/jsicm2011/>)にアクセスし、演題応募ページの要領に従って必要事項を入力し、送信して下さい。

■演題応募受付期間

2010年7月22日(木)～8月26日(木)

■連絡先

第38回日本集中治療医学会学術集会事務局
日本医科大学付属病院集中治療室内
〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
TEL：03-5814-6206
FAX：03-5685-3069
E-mail：jsicm38@nms.ac.jp
URL：http://www.congre.co.jp/jsicm2011/
幹事：竹田 晋浩
佐藤 直樹
事務局：山本 剛(事務局長)
翁川 恵美(事務局秘書)